

No 1 非正規労働者の失業は本当に自己責任か	
担当講師	浅野 和也(あさの かずや) 経営学部地域ビジネス学科 准教授
主な担当科目	人材育成論、経営学II
講義内容	<p>昨今「派遣切り」をはじめとする、いわゆる非正規労働者の解雇が問題になっています。「あくまでも自己責任」、「努力をしていない人たち」との評価は、果たして適切なものなのでしょうか。</p> <p>この講義では、労働者の働き方や働かせ方をつづじて、企業と労働者の関係や社会のあり方について考えたいと思います。</p>

No 2 経営学とはどんなことを考えるのか	
担当講師	浅野 和也(あさの かずや) 経営学部地域ビジネス学科 准教授
主な担当科目	人材育成論、経営学II
講義内容	<p>経営学とは企業を対象にした学問です。企業の構造や行動などをつづじて、活動の目的や社会との関係を考え、私たちにとってどのような存在であり、またどのような問題を抱えているのか、考えたいと思います。</p>

No 3 「ん」の話～日本語の表記から英語のスペリングを考えよう！～	
担当講師	伊藤 恵美子(いとう えみこ) 経営学部地域ビジネス学科 教授
主な担当科目	日本語表現、アカデミック・ライティング、異文化コミュニケーション
講義内容	<p>漢字で「新聞」と表記される語は、平仮名で書くと「しんぶん」、ローマ字で書くと「SHIMBUN」です。日本語の「ん」で書き表されるオトは、ローマ字表記では「M」や「N」に区別されます。つまり、日本人が一つのオトとして捉えている「ん」を、外国人は複数の別のオトに聞き分けているのです。</p> <p>この講義は日本語におけるオトと表記の関係を客観的に(外国人の立場から)理解し、英語のスペリングについても考えます。</p>

No 4 人を大切にする経営	
担当講師	今瀬 政司(いませ まさし) 経営学部地域ビジネス学科 准教授
主な担当科目	地域振興論、非営利組織論、地域ビジネス特講ⅡⅢ
講義内容	<p>昨今、ブラック企業のニュースが多いですが、社会にはホワイト企業も活躍しています。ホワイト企業とは、「人を大切にして」しかも「成長し続ける」企業です。</p> <p>この講義では、ホワイト企業の経営ノウハウと具体的な事例を学ぶとともに、ホワイト企業とブラック企業を見抜く力をつけていきます。</p>

No 5 2020東京オリンピック・パラリンピックは成功するのか？	
担当講師	大勝 志津穂(おおかつ しづほ) 経営学部地域ビジネス学科 准教授
主な担当科目	スポーツ社会学、生涯スポーツ
講義内容	<p>世界各国で、オリンピックやパラリンピック、W杯などのビッグスポーツイベントが開催され、盛り上がりを見せているように思われます。しかし、イベント開催にあたっては、様々な問題や課題が指摘され、中には報道されないものもあります。</p> <p>本講座では、そのような問題や課題の背景にある事柄を考えながら、2020東京オリパラの開催について考えたいと思います。</p>

No 6 広告はどういうようにして作られるか	
担当講師	上條 憲二(かみじょう けんじ) 経営学部地域ビジネス学科 教授
主な担当科目	広告・メディア入門Ⅰ、ブランド構築論
講義内容	<p>テレビ、新聞、雑誌、ラジオ、交通広告、そしてインターネット。私たちの周りにはたくさんの広告が溢れています。有名なタレントが登場して商品や会社のことを知ってもらおうとするものや、まるで芸術作品のように表現にこだわったものなど様々な広告があります。</p> <p>この授業では、そうした広告が一体どうやって作られ、どうやって受け手に届けられるのか、誰が、何をしているのかを具体的に説明するとともに、広告の役割についても考えます。</p>

No 7 スポーツ・ツーリズムって何だろう？	
担当講師	杉谷 正次(すぎたに まさつぐ) 経営学部地域ビジネス学科 教授
主な担当科目	スポーツマネジメント、スポーツビジネス
講義内容	「スポーツ」と「観光」を融合した「スポーツ・ツーリズム」は、新しいビジネスモデルとして期待されています。 本講義では、北海道ニセコ地域や沖縄県におけるスポーツ・ツーリズムの取り組みを紹介するとともに、今後のスポーツ・ツーリズムの可能性について考えます。

No 8 地球温暖化を考える	
担当講師	高木 靖彦(たかぎ やすひこ) 経営学部地域ビジネス学科 教授
主な担当科目	自然科学基礎、環境科学、入門コンピュータ、ビジネスコンピューティング
講義内容	「地球温暖化」という言葉はニュース等で良く聞きますが、皆さんはその原因や仕組みを良く理解しているのでしょうか。 この問題を正しく理解するためには、物理・化学・生物・地球惑星科学(これらの学問を合わせて自然科学と言います)の幅広い知識が必要となります。 この講義では、高校の理科で学習している事柄を前提にして、できるだけ数式は使わないで写真やグラフを多く使って、地球表層の平均温度が上昇する理由、その事の影響を基礎から科学的に考えて行きたいと思います。

No 9 他の惑星見て我が惑星を考える	
担当講師	高木 靖彦(たかぎ やすひこ) 経営学部地域ビジネス学科 教授
主な担当科目	自然科学基礎、環境科学、入門コンピュータ、ビジネスコンピューティング
講義内容	太陽系には8個の惑星があり、それらの惑星は様々な顔をもっています。他の惑星の素顔を知ることが、我々の惑星地球をより深く知ることに繋がります。 日本のことを深く知り考えるためには、他の国々との比較をしたり、世界の中での日本の立場を考えることが重要なことと同じです。他の惑星のことを知るための方法の一つとして惑星探査がありますが、惑星探査の最新の成果も取り入れながら、他の惑星を通して我々の惑星地球を深く知り考えていきます。

No 10 次世代ビジネスにおけるマネジャーの仕事	
担当講師	手嶋 慎介(てじましんすけ) 経営学部地域ビジネス学科 教授
主な担当科目	ビジネス実務演習、専門プロジェクト、キャリア基礎、インターンシップ
講義内容	経営学におけるマネジャーやリーダーの研究を紹介します。ヘンリー・ミンツバーグ教授は「マネジャーとは、組織の全体、もしくは組織内の明確に区分できる一部分に責任をもつ人物のこと」と定義しています。 次世代ビジネスの現場において、マネジャーはどのような仕事をし、どのように優れたリーダーへと成長していくのでしょうか。以上から、理論と実践を結びつけ、人生100年時代といわれるこれからの社会で必要とされる能力を身につける方法を考えます。

No 11 初歩からの経済学 —価格の決まり方と決め方—	
担当講師	中山 孝男(なかやま たかお) 経営学部地域ビジネス学科 教授
主な担当科目	経済学
講義内容	「価格は需要と供給で決まります」と学校では教えられますが、「それって本当？」と疑問を持つ高校生に経済学の世界を少しだけ紹介します。 いろいろな具体例をあげて「価格差別」の考えなどを初歩から教えます。

No 12 数字センスを磨く5つの方法！	
担当講師	深谷 和広(ふかや かずひろ) 経営学部地域ビジネス学科 教授
主な担当科目	簿記Ⅰ、簿記Ⅱ、会計学、財務諸表論
講義内容	現在は過去の歴史を振り返っても最も変化の激しい時代になりました。教科書の知識量を自慢する「偏差値偏重」の時代は終わり、知識量で測れない現場での応用が利く本来のアタマのよさで勝負する時代になりました。このアタマのよさを「地アタマ」と呼びます。 授業では、「地アタマ」を鍛えるのに役立つ、数字センスを磨く5つの法則を紹介したいと思います。数字のセンスを磨くことは物事を判断する上で重要な要素だからです。

No 13 会計パズルで企業の財布の中身を探ってみませんか？	
担当講師	深谷 和広(ふかや かずひろ) 経営学部地域ビジネス学科 教授
主な担当科目	簿記Ⅰ、簿記Ⅱ、会計学、財務諸表論
講義内容	これからは単なる知識量で測れない現場で応用の利く本来のアタマのよさが求められる時代です。このようなアタマのよさを「地アタマ」と呼びます。「地アタマ」を鍛えるには数字センスを磨くことが大切です。 この授業では「地アタマ」を鍛える方法として、会計パズルを活用して会社の財布の中身の探る方法を紹介したいと思います。経済不況の中で将来予測が困難な企業の財布の中身はどのようなになっているのでしょうか？

No 14 AI(人工知能)は私達を幸せにするのか	
担当講師	船木 恵一(ふなき けいいち) 経営学部地域ビジネス学科 教授
主な担当科目	総合ビジネス基礎、情報メディア論、コンテンツビジネス論、グローバルビジネスリーダーシップ
講義内容	メディアでAI(人工知能)に関するニュース報道が急増しています。何故これほどまでに話題になるのでしょうか？また今のAIには何ができて、何ができないのでしょうか？AIの現状を知ること、これからの社会の変化を予測することにつながります。 この講義ではAI開発の歴史や現状の理解、AIを報道するメディアや映画作品等を通して、人々のAIへの期待と不安をあきらかにし、暮らしやビジネスへのインパクトを考察してゆきます。

No 15 メディアは社会にどう影響を及ぼすのか	
担当講師	船木 恵一(ふなき けいいち) 経営学部地域ビジネス学科 教授
主な担当科目	総合ビジネス基礎、情報メディア論、コンテンツビジネス論、グローバルビジネスリーダーシップ
講義内容	紙や印刷が古代中国で発明されてから西欧に伝わるのに千年以上の時を要しています。西欧諸国ではその後急速に科学技術が発展し、ルネッサンスや大航海時代を迎え、やがて産業革命を成し遂げ世界をリードしてゆきました。何故中国ではなく西欧が先に先進国になったのでしょうか。 この講義では、千年単位でメディアや情報が社会に与えた影響とは何かを考え、インターネット時代の現代社会の有りようとそのゆくえを考察してゆきます。

No 16 大学で学ぶ“観光”	
担当講師	宮本 佳範(みやもと よしのり) 経営学部地域ビジネス学科 准教授
主な担当科目	現代観光論、地域観光論
講義内容	現在、日本には観光について学べる大学がたくさんあります。みなさんは、そこでどんなことを学ぶのかイメージがわきますか？具体的な学びの内容、どんな人に合っているのか、何の役に立つのかなどはイメージしにくいのではないのでしょうか。 そこでこの講義では、大学での観光に関する学びの概要や観光振興や観光まちづくりを考えるうえで重要になる新しい観光資源についての考え方などをわかりやすく解説します。

No 17 文系エンジニア 仮想通貨を学ぼう！	
担当講師	宮城エステバン(みやしろ えすてばん) 経営学部地域ビジネス学科 教授
主な担当科目	次世代ビジネス基礎、現代企業論、グローバル人材育成論
講義内容	理系ではないのでコンピューターがすごく難しいと思っていませんか。 自分で仮想通貨を作るのはありえないのか実は現在開発がどんどん進んでいて、仮想通貨が誰でも作れるようになりました。 簡単なデモをお見せしますが、その前に仮想通貨の仕組みと可能性、特に取引における危険性を説明します。 仮想通貨を支えるブロックチェーン技術は、世界を変えるかもしれません。ブロックチェーンや仮想通貨は難しいのでみんなで基本を理解しましょう！

No 18 脳と心のコミュニケーション学 -きみの気持ちの支配者は？-	
担当講師	吉村 美路(よしむら みち) 経営学部国際ビジネス学科 准教授
主な担当科目	コミュニケーション技能、プレゼンテーション技術
講義内容	わたしたちは普段、友達や親の何気ない言動や行動に気持ちが揺れ動くことがあるでしょう。実はこの心の動きにはわたしたちが意識しないレベル、はるか太古にDNAに刻み込まれた反応と幼少期の経験による反応の、2つの無意識の反応が含まれているのです。 自分で判断・選択していると思っている好き嫌いや行動も、実はあなたの中の反応によって支配されているのかもしれない。そんな不思議な心理の世界を、少しのぞいてみましょう。

No 19 GDPと国民経済計算	
担当講師	岩本 光一郎(いわもと こういちろう) 経営学部国際ビジネス学科 准教授
主な担当科目	統計学、日本経済論、金融論
講義内容	この講義では、一国の経済の規模を測る最もポピュラーな指標であり、国単位での経済成長率の計算にも使われるGDPという概念への理解を深めることを目指します。 併せて、現実の社会でGDPを計算する枠組である国民経済計算(SNA)についても解説します。

No 20 異文化理解者となるためのコミュニケーション講座	
担当講師	佐々木 裕美(ささき ゆうみ) 経営学部国際ビジネス学科 教授
主な担当科目	アメリカの文化と社会、ビジネス英語
講義内容	留学を考えている人、国際的な仕事に就きたいと考えている人、日本にいて異文化と接する経験をしている人、これから経験しようとしている人のためのコミュニケーション講座です。異文化理解のために必要な知識について、様々な活動を通して皆で考え、一緒に学びます。

No 21 日本語の素朴な疑問に答える音声学	
担当講師	竹越 美奈子(たけこし みなこ) 経営学部国際ビジネス学科 教授
主な担当科目	中国語総合 I 中国語オーラルコミュニケーション I
講義内容	五十音図はなぜあの順番なのか。「羽生弓弦」の「羽生」はなぜ「はにゆう」と読むのか。「雨(あめ)」はなぜ「小雨(こさめ)」「春雨(はるさめ)」のように音が変わるのか。日本の幼児語とアメリカ英語の意外な共通点とは？ この講義では、日本語の中の素朴な疑問を解きながら、音声学の知見を紹介します。音声や日本語に興味のある人はもちろん、将来英語やその他の外国語を学びたい人など、どなたでも大歓迎です。

No 22 折り紙で学ぶ仕事の経営学	
担当講師	田村 豊(たむら ゆたか) 経営学部国際ビジネス学科 教授
主な担当科目	経営学、経営戦略論
講義内容	折り紙のおり方を、他人に伝えたい場合、あなただったらどう伝えますか？ 企業での仕事では、多くの人間が集団で働くことで経営が成り立っています。企業は、多くの人間の集まりであり、企業にはいろいろな情報の伝達とコミュニケーションの仕方があります。 講義では、折り紙をおっぴながら、人間行動、コミュニケーションなどの仕方を学び、経営学と仕事の関係を考えます。

No 23 障害者の経営学	
担当講師	寺島 雅隆(てらしま まさたか) 経営学部国際ビジネス学科 准教授
主な担当科目	イノベーション論 ビジネスモデル構築論
講義内容	障害者の視点から働くとはどういう事かを考えます。最近LGBT(8.9%、電通2018)がマイノリティとして注目されていますが、障害者も7.4%(内閣府2018)存在します。 社会的関係で孤立しがちな障害者という視点に立って、働く意味を考えます。障害者の中には、寝たきりであるにも関わらず、時給10万円以上を稼ぐ人もいます。そのような多様性の中で、自分らしい働き方を模索しましょう。

No 24 生涯スポーツとしてのニュー スポーツの可能性を探る	
担当講師	石川 幸生(いしかわ ゆきお) 人間健康学部人間健康学科 教授
主な担当科目	スポーツ原理、生涯スポーツ論、スポーツ 社会学、レクリエーション論、野外運動論
講義内容	現代社会においてスポーツは、健康で豊かな 生活を送るために必要な手段としての重要な 役割を担っています。そして今やスポーツは、生 涯を通して日常生活になくはならないものとし て楽しまれ行われています。 そこで、生涯スポーツとしてのニュースポー ツの可能性について「これまで」と「これから」の視 点からお話をします。

No 25 喫煙・飲酒・薬物乱用と 健康	
担当講師	上田 裕司(うえだ ゆうじ) 人間健康学部人間健康学科 准教授
主な担当科目	保健体育科教育法Ⅱ(保健分野) 学校保健
講義内容	未成年者の喫煙・飲酒は法律によって禁止さ れており、薬物乱用はいかなる年齢においても 禁止されている。喫煙や飲酒をする中学生・高 校生は、近年減少の傾向にあるが決して少ない とはいえない。薬物乱用は中学生・高校生にお いて減少傾向にあるが大学生などによる大麻 乱用が問題となるなど依然として予断を許さな い状況が続いている。 本講義では、喫煙・飲酒・薬物乱用と健康に焦 点を当て改めて危険性について考えたいと思ひ ます。

No 26 コーチング・ トレーニング論入門	
担当講師	木野村 嘉則(きのむら よしのり) 人間健康学部人間健康学科 助教
主な担当科目	コーチング論、トレーニング科学 専門スポーツ実習(陸上競技)
講義内容	これまで部活などで、スポーツに取り組んでき た経験があるのではないのでしょうか。 この講義ではスポーツの上達のための指導や トレーニングに関するトピックを紹介します。競 技力を高めるにはどのような知識や資質が必要 となるのでしょうか。 本講義ではこのような視点から、よい指導者 やよい選手を目指す際に、どのような学習を進 めてスポーツと向き合っていけば良さそうかを 考えていきたいと思ひます。

No 27 足首捻挫の 応急処置法を学ぼう!	
担当講師	葛原 憲治(くずはら けんじ) 人間健康学部人間健康学科 教授
主な担当科目	基礎アスレティックトレーニング、アスレティ ックトレーニング実習、プログラムデザイン
講義内容	スポーツ活動で最も多いスポーツ傷害の一つ が足首の捻挫です。 スポーツ現場では足首の捻挫に対する適切な 処置法がまだまだ浸透していないのが現状で す。応急処置の仕方によっては、競技復帰の時 間がかかり影響するので、適切な処置の仕方を 学ぶ必要があります。すぐに実践できる究極の ノウハウを教えます。

No 28 トップアスリートから学ぶ! ~成功する秘訣~	
担当講師	葛原 憲治(くずはら けんじ) 人間健康学部人間健康学科 教授
主な担当科目	プログラムデザイン、ストレングス&コンディ ショニング実習、基礎アスレティックトレーニ ング
講義内容	トップアスリートとは、プロ野球選手、Jリー ガー、各競技における日本代表選手やオリン ピック選手などをいいます。 トップアスリートの中でも成功する選手もいれ ば、そうでない選手もいます。トップアスリート として成功するためには、何が必要か?何をす べきか?プロスポーツ選手になっても何が足り なかったから成功しなかったのか?成功してい るトップアスリートは必ず何か秘訣を持っている ものです。長年トレーナーとしてトップアスリ ートに関わった現場経験から、その秘訣が明ら かにされます。

No 29 理解して身に付けるマット運動 【倒立編】	
担当講師	小島 正憲(こじま まさのり) 人間健康学部人間健康学科 准教授
主な担当科目	専門スポーツ実習(器械運動) バイオメカニクス
講義内容	「倒立」は、マット運動の種目として基礎的な 技の一つです。しかし、非日常的な動作である ため、「恐怖心」を持つ学習者も少なくありません。 そこで本講義は、学習者に倒立の構造を理解 してもらい、そこから段階的な指導を取り入れ ることによって、「恐怖心」が軽減できる倒立指 導をしていきます。

No 30 健康管理の基本について学ぶ	
担当講師	尚 爾華(しょうじか) 人間健康学部人間健康学科 准教授
主な担当科目	食と健康、健康管理論 衛生学、小児保健論
講義内容	歴史上に有名な海軍カレーが多くの兵士の命を助けた逸話や、ロンドンバス研究で解明した運転手と車掌の病気リスクの差の話を紹介した上で、栄養・運動と健康の基本知識を学びます。 また、病気にならないためには、予防医学の知識を用いた健康管理が重要であることを理解します。

No 31 ポジティブ心理学を活用した心の健康を高めるコツ	
担当講師	高柳 伸哉(たかやなぎ のぶや) 人間健康学部人間健康学科 助教
主な担当科目	臨床心理学、障害者心理学、集団心理学
講義内容	心理学は人間の物事の理解の仕方や心の健康状態などの難解な内容から、みなさんが身近な生活で経験していることまで幅広く扱っています。 この授業では、より良い生き方や幸せに関して探求した「ポジティブ心理学」の知見を活用した入門編として、普段の生活での考え方・行動から心の健康を高める方法を発見していきます。

No 32 心理学を生活に生かそう 学習に役立てたいことを中心に	
担当講師	橘 廣(たちばな ひろ) 人間健康学部人間健康学科 教授
主な担当科目	教育心理学、発達心理学、学習心理学
講義内容	心理学の研究が、私たちの生活にどのように生かされるかを紹介いたします。 特に、自分はこの課題はできるという自信、やる気、効果的な学習方法などについて、学習心理学・記憶心理学・脳科学の研究結果を参考にして考えてみましょう。 脳のトレーニング(前頭前野の活性化)、ひらめき体験も行います。

No 33 運動ってカラダにいい？わるい？	
担当講師	谷村 祐子(たにむら ゆうこ) 人間健康学部人間健康学科 准教授
主な担当科目	解剖学、スポーツ医学 栄養学、救急処置法
講義内容	運動がカラダにいいといいますが、何にいいのでしょうか？どうしていいのでしょうか？カラダにわるい運動はないのでしょうか？みんな同じ運動をすることが「いい」ことなのでしょうか？ 運動と一言で表しても、色々な種類の運動があります。そのそれぞれの運動がカラダに与えている刺激は異なります。 本講義では、カラダに影響を与える運動について、カラダにとってどんな刺激であるか？という視点でお話します。

No 34 「教え」の知を「学び」に役立てるー勉強に役立つ教育方法学ー	
担当講師	丹下 悠史(たんげ ゆうし) 人間健康学部人間健康学科 助教
主な担当科目	教育学概論、教育経営論 教職概論、教育実習研究
講義内容	教育方法学は、教育の方法すなわち教え方に関する学問です。よい教え方を追究するには、学ぶ主体である子どもの学習の特質を知ることが大切です。 この講義では、教師など人に教える仕事に関心のある人はもちろん、効率的な勉強方法を知りたい人にも向け、教育と学習についての研究成果をお伝えします。

No 35 根拠に基づいたトレーニングをしよう！ EBTシリーズ	
担当講師	中野 匡隆(なかの まさたか) 人間健康学部人間健康学科 助教
主な担当科目	運動生理学、トレーニング実習、生理学
講義内容	経験や勘ではなく、客観的な測定と評価に基づいたエビデンスをしっかりと考えて、トレーニングを実施することで、非効率的なトレーニングから卒業しましょう。 大学の講義で扱うトレーニングのエビデンスの一部を高校生向けに噛み砕いて、実践的に授業をします。 授業内容は筋トレの考え方、アスリートに必要なパワーの考え方、柔軟性の考え方、ボディデザインの考え方、体幹トレーニングの考え方、5つのラインナップから選択できます。

No 36 ライフデザインを考える～「人生ゲーム」をとおして	
担当講師	西尾 敦史(にしお あつし) 人間健康学部人間健康学科 教授
主な担当科目	地域防災論、保健福祉行政論
講義内容	スウェーデンでは、日本の「衣食住」にあたる生活の上で大切なことを「住む・働く・余暇」と考えます。将来の職業人生を歩む上でも「ワーク」と「ライフ」のバランスをとって、社会の中で豊かで充実した人生を送るために、ライフステージ上のトピックを取り上げた「人生ゲーム」を行います。「住む」「働く」「余暇」「結婚・離婚」「健康・病気」「恋愛」「子ども・子育て」「失業」「高齢」「死」などを通してより良いライフスタイルの選択ができることを目指します。

No 37 コミュニケーションスキルを上げるためにカウンセリングの技術を活用する	
担当講師	肥田 幸子(ひださちこ) 人間健康学部人間健康学科 教授
主な担当科目	カウンセリング概論、心理学概論
講義内容	まず、カウンセリングマインドをもって話を聴くということはどういうことか、そして、それと日常会話の違いを学びます。 他者の話を聴くことの重要性やカウンセリング技術を学ぶことで自分の会話スタイルを見直し、コミュニケーションスキルUPをはかりましょう。

No 38 あなたも災害ボランティア？	
担当講師	藤沢 真理子(ふじさわ まりこ) 人間健康学部人間健康学科 教授
主な担当科目	地域福祉論、社会福祉援助技術論
講義内容	1995年阪神淡路大震災は日本における「ボランティア元年」と言われ、100万人以上の方が被災地に駆けつけました。その後、中越地震、東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨と大きな災害が続いています。その度に多くのボランティアが被災地に駆けつけています。 南海トラフ地震が予想されている今、私たちは何を準備すればいいのか一緒に考えていきましょう。

No 39 インターネットの光と影	
担当講師	正岡 元(まさおか はじめ) 人間健康学部人間健康学科 助教
主な担当科目	入門コンピュータ、コンピュータ概論
講義内容	インターネットは今や生活を支えるインフラとしてなくてはならないものになっています。みなさんも普段スマートフォンを通して、ネット検索やSNSなどインターネットを利用していると思います。さらに、日常生活の意外なところでインターネットを利用していることもあります。インターネットの意外な使われ方や未来について紹介します。 しかし一方で、インターネットには怖い一面もあります。SNSでのトラブルなどは聞いたことがあるかもしれません。他にもいろいろな落とし穴についても知って、トラブルに巻き込まれないように、インターネットを楽しく便利に使えるようになりましょう。

No 40 ボランティアという意味	
担当講師	丸岡 利則(まるおか としのり) 人間健康学部人間健康学科 教授
主な担当科目	社会福祉概論、社会保障論
講義内容	ボランティアとは何か。それは、「Voluntas=自由な意思」というラテン語が語源です。それは、また『何かをしたい』と意思することによって自発的に行為することなのです。そして、大切なことなのですが、それが他ならない意思を持った自分であることにたどりつきます。 この講義では、青春時代の悩みと結びつけて、ボランティアが自分の生きたかたとどのように結びつくのかを考えます。ボランティアを通して、「自分はいったい何をしたいのか」という意味を深く掘り下げていきます。

No 41 「こころ」の競技能力とは？	
担当講師	山村 伸(やまむらしん) 人間健康学部人間健康学科 准教授
主な担当科目	専門スポーツ実習(球技)、健康スポーツ心理学
講義内容	スポーツ場面においてメンタル面の重要性は経験的に知られていることですが、この勝敗を分ける「メンタル」とは一体なんなのでしょうか？ 本講義では心理テストを用い、その具体的な内容について学んでいきます。

No 42 新札1000円の顔 北里柴三郎の業績から医学の歴史を学ぶ	
担当講師	渡辺 弥生(わたなべ やよい) 人間健康学部人間健康学科 准教授
主な担当科目	人間と健康、医学概論、環境保健論、看護学
講義内容	人間健康学部では健康に関する科目の一環として医療概論を学びます。 明治時代に日本は西洋医学を取り入れました。その頃、死の病とされた様々な感染症ですが、現代では結核などで死ぬことはなくなりました。健康長寿となり、新たな課題を持ちながら医学は発展し続けています。私たちが健康な生活ができるのは先人たちの研究のおかげです。 日本の細菌学の父といわれる北里柴三郎の功績を学び、新1000円札になぜ登場したのか考えてみましょう。

No 43 元気な子どもに育つ運動の秘訣とは	
担当講師	伊藤 数馬(いとう かずま) 教育学部子ども発達学科 准教授
主な担当科目	体育科教育法、体育、スポーツ実習
講義内容	幼児期や児童期に体を動かすことは、人間が健やかに暮らしていくために非常に大切です。 この時期にどんな運動をどのように行うのが良いのか、一緒に考えてみたいと思います。 体を動かすことが好きになる、運動が上手にできる子どもを育てる指導法と一緒に学習します。

No 44 虐待と貧困から子どもを守る	
担当講師	伊藤 龍仁(いとう たつひと) 教育学部子ども発達学科 教授
主な担当科目	児童家庭福祉、社会的養護、相談援助
講義内容	日本は、7人に一人の子どもが貧困の中にあるといわれています。また、全国の児童虐待相談件数は年間10万件を超え、過去最多となりました。このような子どもたちと、子育てをする家族を守り支援する保育者は、幅広い職場でますます大切な役割を担うようになっています。 そこで、施設や地域で活躍する保育者の様々な活躍を取り上げながら、就職後に独立して起業することもできる21世紀の保育の魅力とやりがいを紹介します。

No 45 スマートフォンとスマートに(賢く)つき合う法	
担当講師	今津 孝次郎(いまづ こうじろう) 教育学部子ども発達学科 教授
主な担当科目	教育原理、教職概論(幼・小)、教育社会学
講義内容	今の高度情報社会では、メディア(機械化された情報媒体)が急速に進化を遂げるなかで、その対応に人間の方が遅れているようです。特にスマートフォン(スマホ)の出現によって、スマホを道具として使いこなすよりも、逆にスマホに使われてしまい、「ネット依存症」に陥ってしまうような実態が青少年の間に広がっています。 そこで、現代のメディア・コミュニケーション時代の特徴を明らかにしながら、スマホとの賢い(スマート)つきあい方について考えます。

No 46 理科実験を楽しもう	
担当講師	柿原 聖治(かきはら せいじ) 教育学部子ども発達学科 教授
主な担当科目	理科教育法、幼児の科学
講義内容	身近な現象について、手づくりの教材を通して理解してみませんか。この授業は生徒全員が自分の手を使って教材をつくり、実験を行うところが特徴です。単につくるだけではなく、実験方法を考えながら、より良いものに発展させるという形で、進めていきます。小学校の内容から高校の教科書範囲まで関連する総合的な学習となります。実験を通し、肌身で感じながら、不思議な現象を探究していきましょう。

No 47 子どもと自然「森のようちえん」の子どもが体感するものは	
担当講師	梶浦 恭子(かじうら きょうこ) 教育学部子ども発達学科 准教授
主な担当科目	生活、生活科教育法、保育内容(環境)
講義内容	森は、奥が深く暗くて、風の音や虫が怖い。そのようなイメージを持つ人はいませんか。森に入って遊ぶ「森のようちえん」の子どもたちはどうでしょう。赤い木いちごをほおぼり、星の形に見える白い花びらを見つけ、黄、黒色のクモの模様をじっと見たり、枝を振りまわしたりと、色鮮やかで豊かな森の世界を体感し冒険しています。実は、そのような実体験こそ、乳幼児期に大切な心身の学びがあると考えています。実際に親子で散歩する乳幼児の姿(写真)から、何が大切な経験と学びかを考えましょう。

No 48 障がい児保育	
担当講師	後藤 永子(ごとう えいこ) 教育学部子ども発達学科 教授
主な担当科目	障害児保育、幼児理解の理論と方法、 教育・保育相談
講義内容	障がい児と健常児と一緒に保育することを統合保育といいます。障がいのある子どもが心を解き放って親しんでいけるようにという心尽くしが、さりげなくごく自然な配慮としてあり、その子らしさ、自分らしさを確かなものにしていくことが保障されていく保育です。 これは「障がい児」のみに当てはまるものではなくすべての子どもたちに有効であり、当たり前保育の形態といえます。

No 49 小学校教師になるには	
担当講師	白井 克尚(しらい かつひさ) 教育学部子ども発達学科 准教授
主な担当科目	社会、社会科教育法 生活、生活科教育法
講義内容	小学校教師の仕事は、とても素敵で面白くやりがいのある仕事です。 でも、小学校教師の仕事って、実際はどんなことをしているのだろう。小学校教師になるには、どんな方法があるのだろう。小学校教師になるには、どのようなことを意識して高校生活を過ごせばよいのだろう。 授業を通じて、教えられる側から教える側へと見方を変えながら、一緒に考えていきましょう。

No 50 子どもの絵の不思議！？	
担当講師	新實 広記(にいみ ひろき) 教育学部子ども発達学科 准教授
主な担当科目	図画工作科教育法、保育内容(造形表現)
講義内容	子どもの絵は、人の心をひきつける魅力を持っています。つい微笑んでしまいたくなるような絵。躍動感ある生き生きとした絵。たくさんのメッセージが盛り込まれた絵。そんな想像力無限大の子どもの絵は大人の常識からすれば大きさ・設定などがムチャクチャなものばかりです。これら、子どもの絵の不思議はいったいどこから来るのでしょうか？ この授業では子どもの絵を観察しながら常識にしばられないイメージの世界、子どもの夢のような世界について探っていきます。

No 51 英語の歌とゲームを楽しもう	
担当講師	西崎 有多子(にしざき うたこ) 教育学部子ども発達学科 教授
主な担当科目	小学校英語、小学校英語教育法、 英語 I～IV
講義内容	将来、小学校教諭・幼稚園教諭・保育士を目指したい人を対象に、子どもと楽しみながら英語に親しめる歌やゲームを紹介し、活動の目的を考えながら一緒に楽しみます。

No 52 保育における乳幼児の言語獲得	
担当講師	橋村 晴美(はしむら はるみ) 教育学部子ども発達学科 准教授
主な担当科目	保育内容(言葉)、保育実習指導 I A、 保育実習指導 II
講義内容	保育現場で必要とされる保育者のなすべき行動は、子どもの姿を科学的に把握した理論から生まれます。しかしながら、理論と実践を融合させて子どもの姿を捉えていくことはそう容易なことではありません。 ではなぜ理論と実践を融合させていくことが必要なのでしょう。 乳幼児はどのような発達の過程で話し言葉を獲得し、それを豊かにしていくのか、発達理論も踏まえながら、皆さんとじっくりと考えてみたいと思います。

No 53 こころのキャッチボールを楽しもう	
担当講師	堀 篤実(ほり あつみ) 教育学部子ども発達学科 教授
主な担当科目	発達心理学、教育心理学、発達障害論
講義内容	自分自身の考え方の特徴やクセについて考え、振り返ることにより、今まで気づいていなかった自分の価値観や個性、自分らしさへの気づき体験をします。 自分のこころのクセを知り、「自分らしく」リラックスした毎日を送るためのヒントを見つけます。直球や変化球など様々なこころを投げたり受けたりしながら、こころのキャッチボールを楽しんでみましょう。

No 54 音楽の窓から覗いた 子どもの発達	
担当講師	水野 伸子(みずの のぶこ) 教育学部子ども発達学科 教授
主な担当科目	音楽科教育法、保育内容(音楽表現)、 音楽Ⅰ・Ⅱ
講義内容	トーンチャイムや手作り楽器を楽しむ子どもたちを観察していると、年齢によって興味を持つ内容が異なることに驚かされます。音色にイメージネーションを膨らませて聞いたり、音のしくみを解明しようとしたり、子ども達の興味はさまざまです。それらをつないでいくと発達の道筋や発達を支える人間関係が見えてきます。 音楽の窓から覗いた子どもの発達をいとうちに、保育者や教育者のあり方を一緒に考えてみましょう。

No 55 子どもの生活と心を豊かに する音楽的表現の世界	
担当講師	矢内 淑子(やない としこ) 教育学部子ども発達学科 教授
主な担当科目	音楽Ⅰ、音楽Ⅱ、音楽Ⅲ、音楽表現技術 音楽表現技術
講義内容	子どもは音楽が大好きです。楽しいことがあると自然に即興的に歌を口ずさみ、音楽に合わせて身体を動かして音楽を楽しみます。 では、子どもたちは日々の生活において、どのような音楽の楽しみ方をしているのでしょうか。 皆さんと一緒に映像を見ながら、子どもの音楽的表現について考えてみたいと思います。そして、子どもの生活と心を豊かにしている子どもの歌や手遊びを体験してみましょう。



愛知東邦大学

AICHI TOHO UNIVERSITY

オンリーワンを、一人に、ひとつ。